

再評価結果（平成 17 年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道 55 号 <small>こうちなんこくどうろ</small> 高知南国道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局	
起終点 自：高知県高知市一宮 <small>こうちしゅうく</small> 至：高知県南国市物部 <small>なんこくしものべ</small>		延長 15.0km	
事業概要 一般国道 55 号は、室戸阿南海岸国立公園を經由して高知市と徳島市を結ぶ幹線道路であり、高知県、徳島県の産業経済を支える大動脈であるとともに、通勤等、日常生活に欠かせない生活道路としての役割を持つ重要な路線である。 高知南国道路の並行区間は、県東部～高知市間の現道（一般国道 55 号）で慢性的な交通渋滞が発生していることから、これらの問題を解消し、沿道環境の改善、利便性の向上を図るものである。 また、高知南国道路は、高知東部自動車道の一部であり、四国横断自動車道と一体的に機能することにより、陸・海・空の玄関が効率的にネットワークし、県内の広域的交通の高速性、安全性の確保に寄与する。			
H2 年度事業化		H2 年度都市計画決定	
H2 年度事業化		H5 年度用地着手	
H13 年度工事着手			
全体事業費 約 1,300 億円		事業進捗率 39%	
計画交通量 35,300 台/日		供用済延長 0.0km	
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 5.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 467/1,105 億円 (事業費 :437/1,075 億円) (維持管理費 :30/30 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,689/2,689 億円 (走行時間短縮便益:2,521/2,521 億円) (走行費用減少便益:114/114 億円) (交通事故減少便益:54/54 億円)
			基準年 平成 16 年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（四国 8 の字ネットワークの形成に寄与） ・円滑なモビリティの確保（高知駅、高知港・高知新港、高知龍馬空港へのアクセス向上）			
			他 15 項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 本事業にあたっては、高知東部自動車道整備促進期成同盟会より積極的な整備促進要望を受けている			
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 四国横断自動車道（高知自動車道）の大豊～南国間が昭和 62 年 10 月に、南国～伊野間が平成 10 年 3 月に、伊野～須崎東間が平成 14 年 9 月に供用開始された。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 1,2 工区については、平成 4 年度に用地買収着手（進捗率 98%）、平成 5 年度に工事着手し、並行する一般道路として五台山道路（高知県整備）が平成 9 年、14 年度に暫定供用している。 3 工区については、平成 12 年度に用地買収着手（進捗率 40%）、平成 13 年度に工事着手、4 工区については平成 14 年度に用地買収着手（進捗率 18%）、平成 16 年度に工事着手予定である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収・工事の進捗をはかり、3 工区を平成 21 年度、4 工区を平成 23 年度に暫定供用を行う予定である。			
施設の構造や工法の変更等 IC の形状見直し、新技術新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト低減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。			
対応方針		事業継続	
対応方針の決定理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの